

平成30年度 認知症地域支援推進員 活動報告書（大阪市浪速区）

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- 地域行事（食事会、ふれあい喫茶、百歳体操等）での周知活動。
- 医師会や社協や包括と認知症講演会を共催し、住民への認知症啓発を行う。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

- 昨年度作成した認知症ケアパスを各関係機関に配布し、普及促進を行う。
- チーム員会議へ出席し、チーム員医師からの指導・助言を受け、連携を図る。
- 保健福祉センターと情報を共有し、専門的な視点からみた支援方法について連携を図る。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

- 若年性認知症に関するチラシを各関係機関や地域住民に配布し、相談窓口の周知を行う。
- ケアマネ連絡会にて、若年性認知症の啓発と相談窓口の周知を行う。
- 認知症講演会にて、若年性認知症に関する映画の上映、相談窓口の周知と説明を行う。

IV 認知症の人の介護者への支援

- 家族会や認知症サポーターの会に参加し、活動の後方支援を行う。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

- 認知症ケアパスを地域住民に配布し、相談窓口の周知を行う。
- 認知症カフェの立ち上げを支援する。
- 認知症カフェの周知の支援や専門職の相談員の派遣を行う。
- 社協や包括と共に、キャラバンメイトの協力のもと、地域の民生委員に向けて徘徊模擬訓練を行う。

VI 会議や研修等の実施及び参画

- 専門職向け認知症研修会「バリデーション療法について」の企画開催を行う。医師、薬剤師、ケアマネジャー、看護師、ヘルパー、保健福祉センターが参加。